

2023年3月期（第27期） 決算説明会

(2022年4月～2023年3月)

2023年5月11日

日本通信株式会社

はじめに

代表取締役会長

三田 聖二

2023年3月期決算の概要

代表取締役社長

福田 尚久

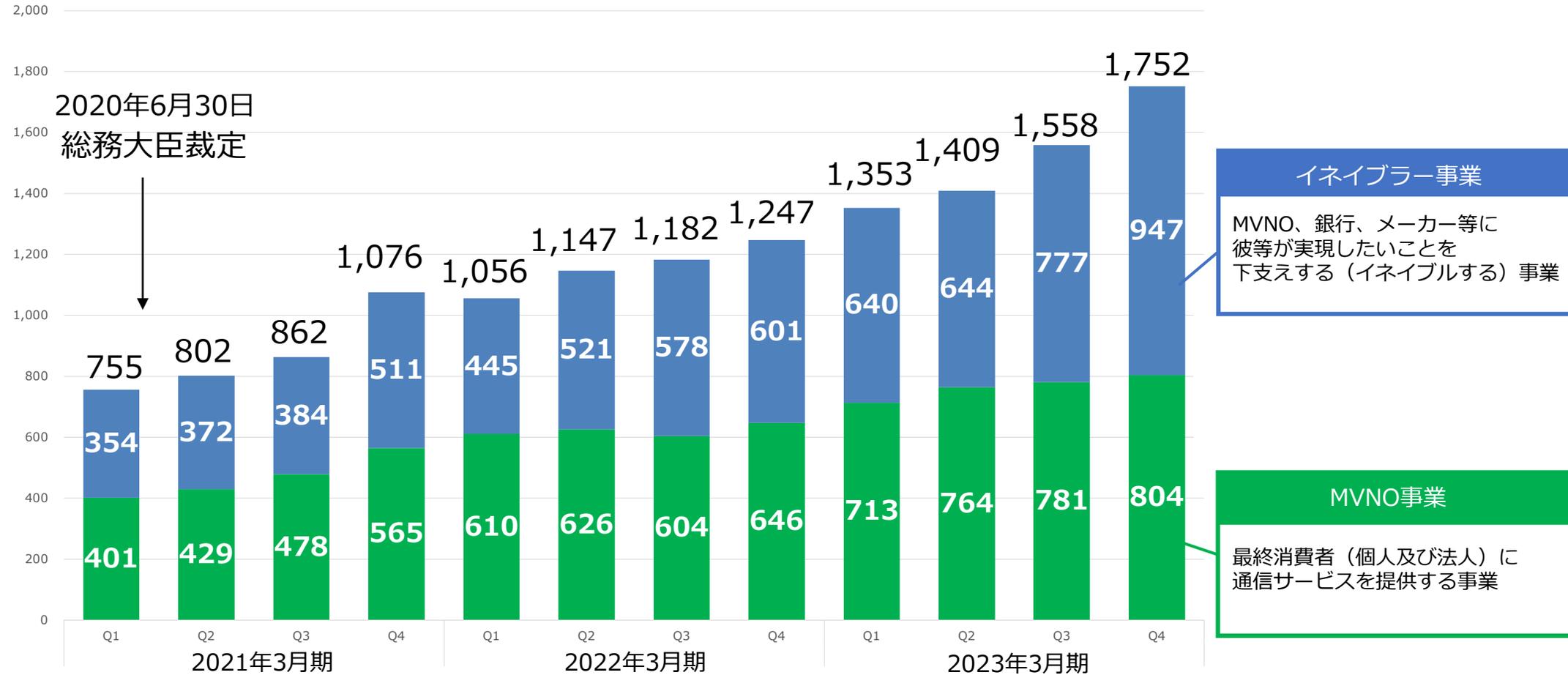
2023年3月期実績 (連結)

単位：百万円 百万円未満は切捨て	2022年3月期		2023年3月期			
					増減	Y to Y 成長率
売上高	4,634	100.0%	6,074	100.0%	1,440	31.1%
売上原価	2,782	60.0%	3,455	56.9%	673	24.2%
売上総利益	1,852	40.0%	2,619	43.1%	767	41.4%
販売費及び一般管理費	1,572	33.9%	1,878	30.9%	305	19.4%
営業利益	279	6.0%	740	12.2%	461	165.1%
経常利益	298	6.5%	780	12.8%	481	161.1%
親会社株主に 帰属する当期純利益	294	6.3%	690	11.4%	396	134.8%

売上推移

百万円
(百万円未満は切捨て)

四半期売上



バランスシート（連結）

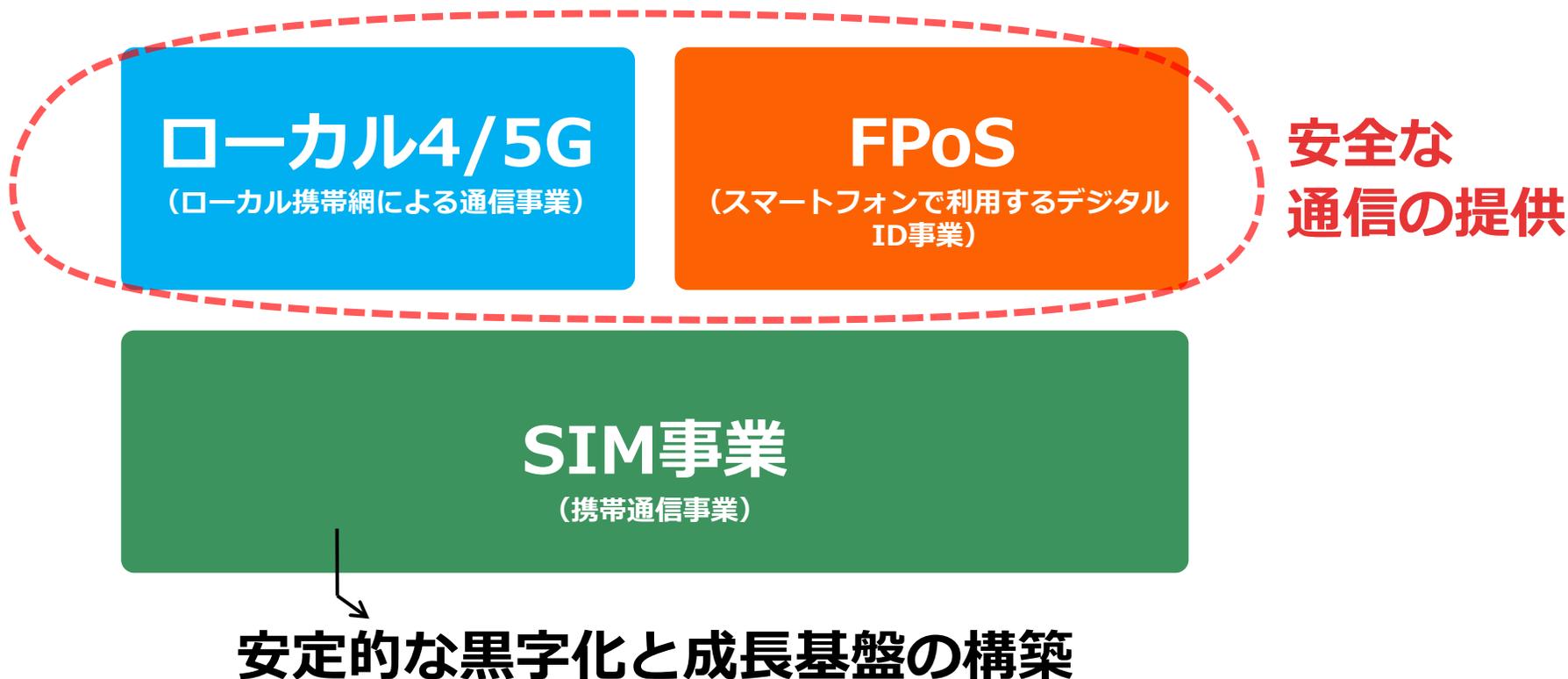
単位：百万円 百万円未満は切捨て	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	
				増減
流動資産	1,521	1,410	2,312	902
現金及び預金	1,025	928	1,580	651
売掛金	338	378	576	197
商品等	75	47	75	27
その他流動資産	86	58	83	25
貸倒引当金	▲ 3	▲ 2	▲ 3	(0)
固定資産	330	531	728	196
有形固定資産	84	121	144	22
無形固定資産	49	205	282	76
投資その他	195	204	301	97
繰延資産	5	2	-	▲ 2
資産合計	1,857	1,944	3,040	1,096
流動負債	1,492	1,106	1,426	320
買掛金	775	421	630	209
前受収益	154	117	120	3
借入金	9	-	-	-
その他流動負債	552	567	675	107
固定負債	23	53	79	26
負債合計	1,516	1,159	1,506	346
純資産	341	785	1,534	749
負債純資産合計	1,857	1,944	3,040	1,096

キャッシュ・フロー計算書（連結）

単位：百万円 百万円未満は切捨て	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	419	21	851
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 53	▲ 271	▲ 200
財務活動によるキャッシュ・フロー	6	150	▲ 1
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	2	2
現金及び現金同等物の増減額	374	▲ 96	651
現金及び現金同等物の期首残高	651	1,025	928
現金及び現金同等物の期末残高	1,025	928	1,580

日本通信の事業戦略

- ✓ 2016年1月に新事業戦略として発表
- ✓ FinTechプラットフォームについては、2017年8月に公表



FPoS: Fintech Platform over SIM、エフポス
スマホで安全・安心な金融取引等を実現できる当社の特許技術

2022年1月に発売した「合理的シンプル290」が、2022年度の成長を牽引
4月28日に平均的ユーザー向け「合理的みんなのプラン」をサービス拡充

合理的
シンプル290 プラン
REASONABLE PLAN

月額基本料
290円

月額に含まれるデータ量
ひと月1GB

追加データ料 1GB 220円

通話料 **11円 30秒**

70分無料通話オプション **700円/月**

通話かけ放題オプション **1,600円/月**

合理的
みんなのプラン
REASONABLE PLAN

月額基本料
1,390円

月額に含まれるデータ量
ひと月6GB > 10GB 4/28から

月額に含まれる通話量
ひと月70分 または **5分/回** 4/28から

追加データ料 1GB 275円 > **220円** 4/28から

通話料 **11円 30秒** 4/28から

通話かけ放題オプション **1,600円/月**

MNPワンストップ、2023年度いよいよ開始



流動化が加速

日本通信SIMでは

1. 8,000万人に最適な「合理的みんなのプラン」をサービス拡充
2. eSIMでも提供
3. マイナンバーカードの電子証明書による本人確認を導入

→ 10分ほどですべての手続きが完了

日本通信の事業戦略

- ✓ 2016年1月に新事業戦略として発表
- ✓ FinTechプラットフォームについては、2017年8月に公表

ローカル4/5G

(ローカル携帯網による通信事業)

FPoS

(スマートフォンで利用するデジタルID事業)

SIM事業

(携帯通信事業)

FPoS: Fintech Platform over SIM、エフポス

スマホで安全・安心な金融取引等を実現できる当社の特許技術

めぶくIDとは？

マイナンバーカードで本人確認を実施して、スマホで使えるようになります。安全なデジタルIDです。



めぶくIDが実現する 共助型未来都市



未来政策課 ☎027-898-6427

市民によって育まれる共助型未来都市、一人一人が幸せにいられるまち（デジタルグリーンシティ）を目指し、めぶくIDで利用できるさまざまなサービスを実施します。

「家電情報によるくらし見守りサポート+（プラス）」以外のサービスは無料です。

なお、政府主催のデジタルコンペ「夏のDigi 田甲子園」アイデア部門で本市が優勝した「めぶくEYE」は、本年度中の構築を予定しています。

めぶくEYE

スマホを活用したAIナビゲーションシステムで、視覚障害者のまち歩きを音声ガイドでサポート。めぶくIDを使って、助けを必要とする人と助けたい人をつなぐ仕組みを構築し、誰もが支え合える暮らしやすい地域をつくりまします。



my Allergy alert

個人が入力したアレルギー情報を、普段の給食の献立変更や万が一の救急対応などに活用するサービス。このサービスは学校や保育所などで活用することを想定しています。



ひとが学び育つ

my Allergy alert

OYACO plus

親子健康情報アプリ「OYACO plus」にチャット相談機能が加わります。めぶくIDの連携機能とチャット相談機能（おやこサポート）を利用できます。



OYACO plus

『デジタルツインあんぜん運転スコアリング』サービス

『デジタルツインあんぜん運転スコアリング』サービス

デジタルツイン技術を活用したドライブシミュレーターで市民の運転危険度を測定し、体験者の行動変容と市内の交通事故の削減を目指します。

☎ 5月7日（木）までの木～日曜、10時～17時

📍 中央公民館4階ラウンジ

5月8日（月）以降の設置場所は、決まり次第本市ホームページでお知らせします。



ツナグすぽっと

デジタル×リアルを融合した、行政・ヘルスケアなどと市民をつなぐサービス。

専門家による健康・予防・美容に関する各種相談やマイナビント、めぶくIDに関する相談に答えます。

☎ ①平日9時～17時 ②平日10時～17時

📍 ①は前橋プラザ元気21 1階
②はアケル前橋 1階（表町二丁目）



めぶくIDでつながるサービス

ひとがつながる

メブクラス まえばし

メブクラスまえばし

誰もが、いつでもどこでも、幅広く学ぶ機会を提供します。興味・志向に合ったe-ラーニングが手軽に視聴できます。大学や企業情報も検索できます。



家電情報によるくらし見守りサポート+（プラス）

家電情報によるくらし見守りサポート+（プラス）

でんきで暮らしと家族を見守ります。家庭にセンサーを一つ設置するだけで、家電ごとの利用状況を見ることができ、離れて住む家族も安心。防災・防犯情報通知や熱中症アラートなどもあり、高齢者の一人暮らしを支えるアプリサービスです。サービスの利用は有料です。



・U-GREEN walk まえばし ・Wonder Watch

U-GREEN walk まえばし Wonder Watch

本市の豊かな自然やまちなかの環境×デジタルツールで非認知能力（創造力、革新力、協働力など）を育むための学びの機会を提供します。

・U-GREEN walk まえばし

目的地まで道草を食いながら散歩し、まちの新たな魅力を発見するアプリ。

・Wonder Watch

動物や昆虫、植物の名前を調べながら自然の「すごい」を集めるアプリ。



ひとの心を豊かに

まえばしダッシュボード「グッドグロウまえばし」

「まえばしの今」を一人ひとりに合わせて届けます。

本市のイベントや学びの機会、市の取り組みなどの情報を、興味・関心、活動エリアで一人一人に合わせた形で受け取ることができます。めぶくIDで連携するとOYACO plusやメブクラスまえばしなどの情報を表示することも。



ひとの体を軽やかに

めぶくアプリ

くらしを便利に、人をつなぐ生活密着型アプリ

人と人をつなぐ共助サービス「助け合い掲示板」で役に立ちたい人・困っている人をマッチング。また、めぶくIDを通じ、本市のさまざまなサービスの利用情報などを自分自身で、便利に簡単に管理することができます。



めぶくIDの登録はこのアプリから



めぶくIDアプリの展開

2022年度のデジタル田園都市国家構想プロジェクトは、以下の基盤及びアプリケーションを生みだした

アプリケーション

■ 前橋 ■ 北海道 江別市

 <p>くらしを便利に そして人と人をつなぐ</p>	 <p>アレルギー情報の 多角連携</p>	 <p>医療機関と連携した 自分だけの健康ログ</p>
 <p>共助（助け隊、あり が隊）</p>	 <p>チャット相談機能を 備えた親子の健康手帳</p>	 <p>食と健康の AIアドバイス</p>
 <p>個別最適化された ダッシュボード</p>	 <p>環境意識の醸成</p>	 <p>食の健康セレクト ショップ</p>
 <p>コミュニティ 共助学習</p>	 <p>でんきで暮らしと家族 を見守る</p>	

基盤

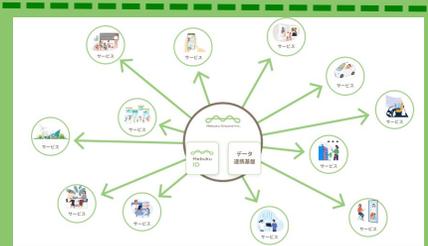
めぶくID



ダイナミックオプトイン



データ連携基盤



ダイナミック・オプトイン



これまで

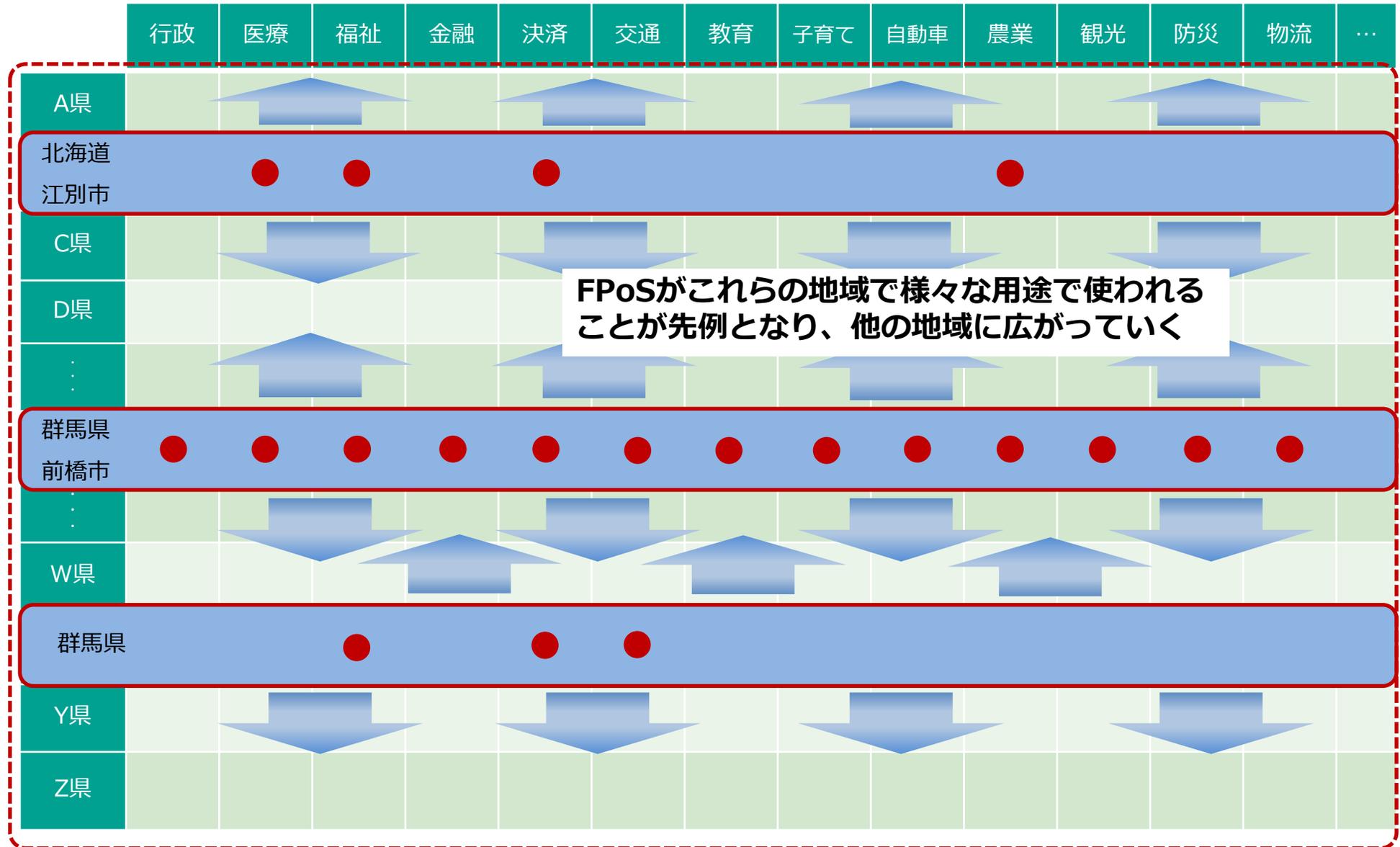
- オプトインしたアプリを覚えていない
- オプトインを取り消しできない
- 気づかないうちにパーソナルデータが流用されてしまう



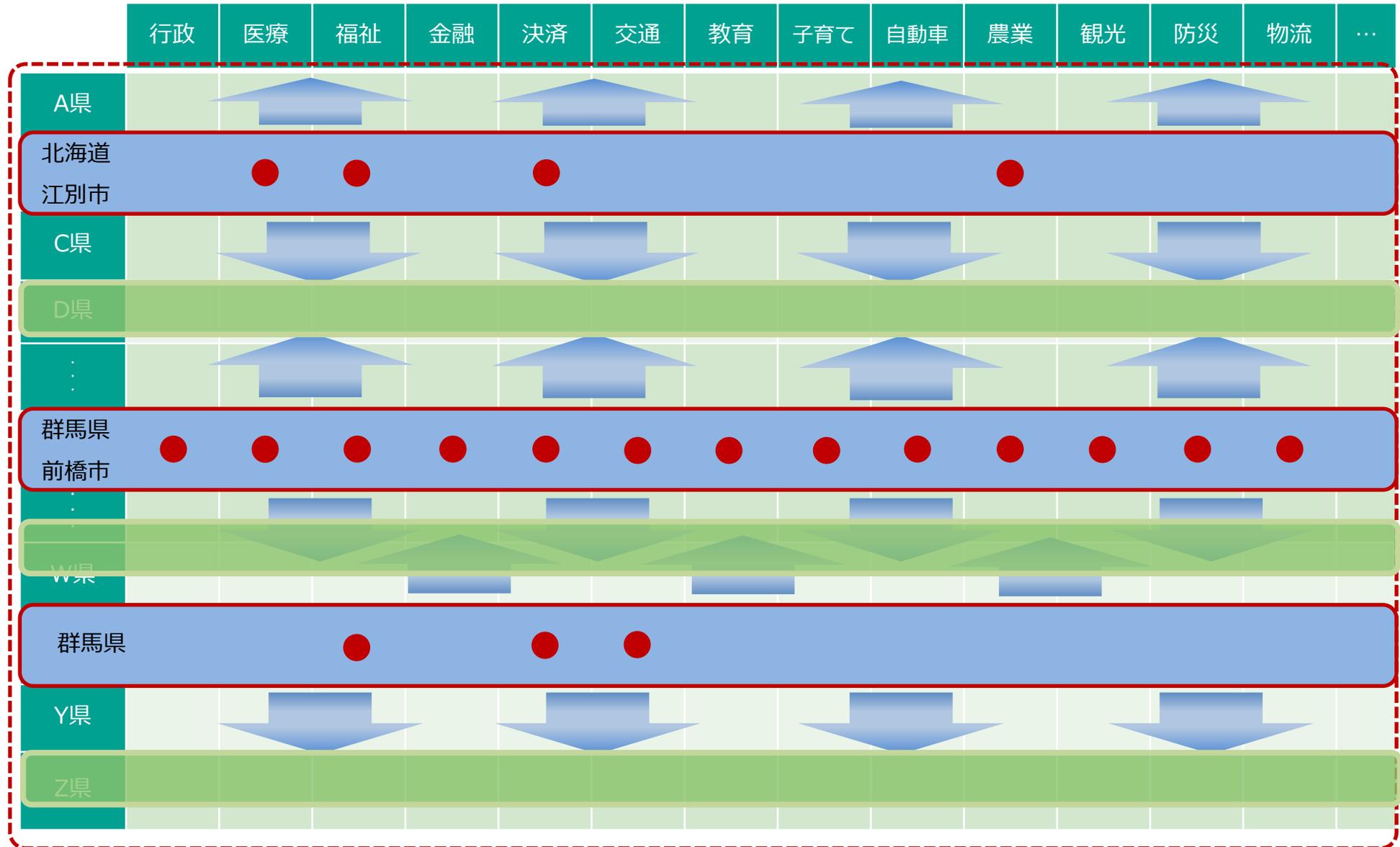
めぶくIDなら

- 個別具体的に、利用者自身でパーソナルデータの提供認可を設定
 - 例えば、自分のアレルギー情報をA病院には提供OK、B病院には提供NG、と設定
- めぶくアプリ上でパーソナルデータの提供認可を一括管理
- 認可/拒否に係るデータはめぶくIDで電子署名し、エビデンスを保管

地域ベースのFPoS採用への取り組み

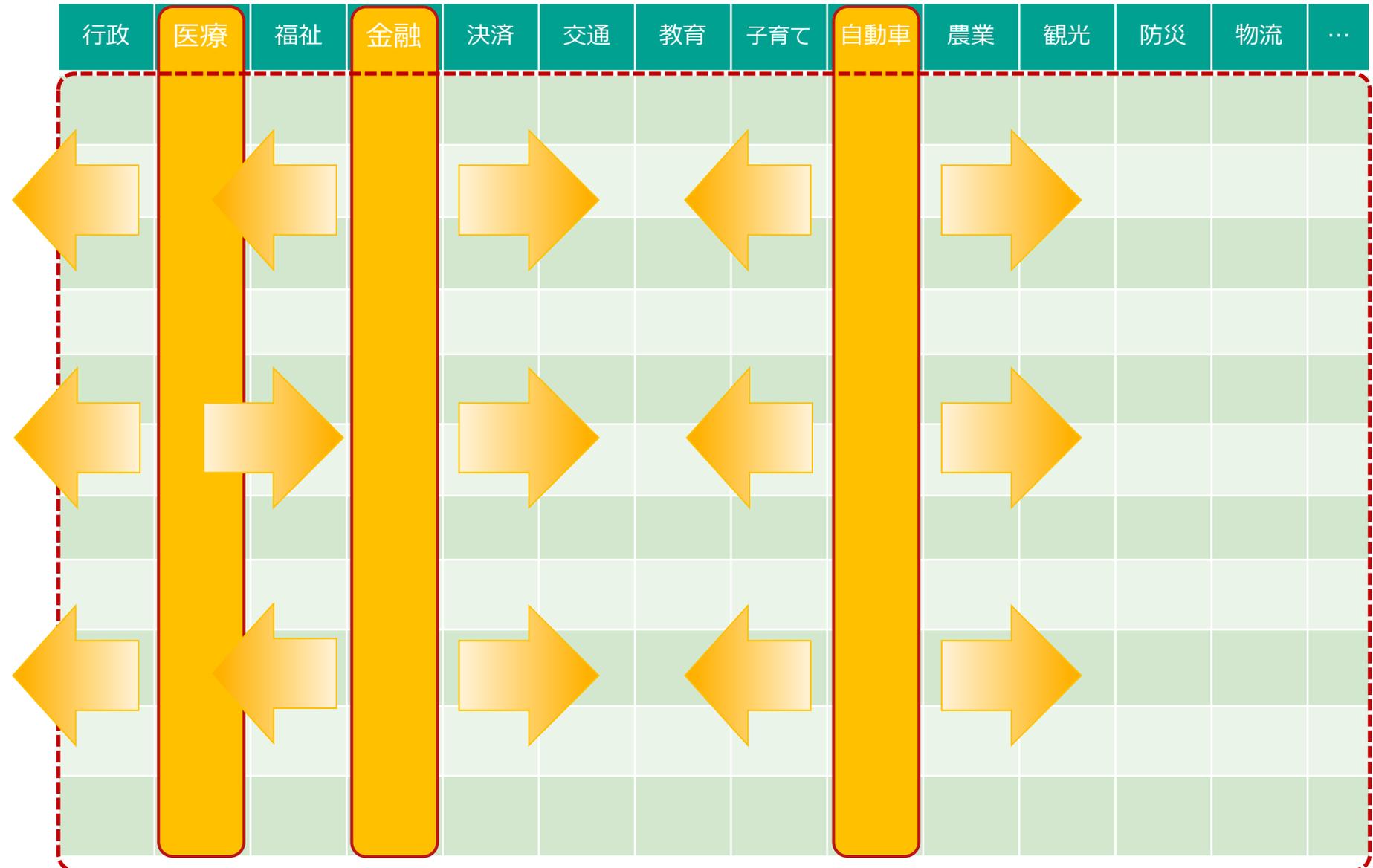


地域ベースのFPoS採用への取り組み



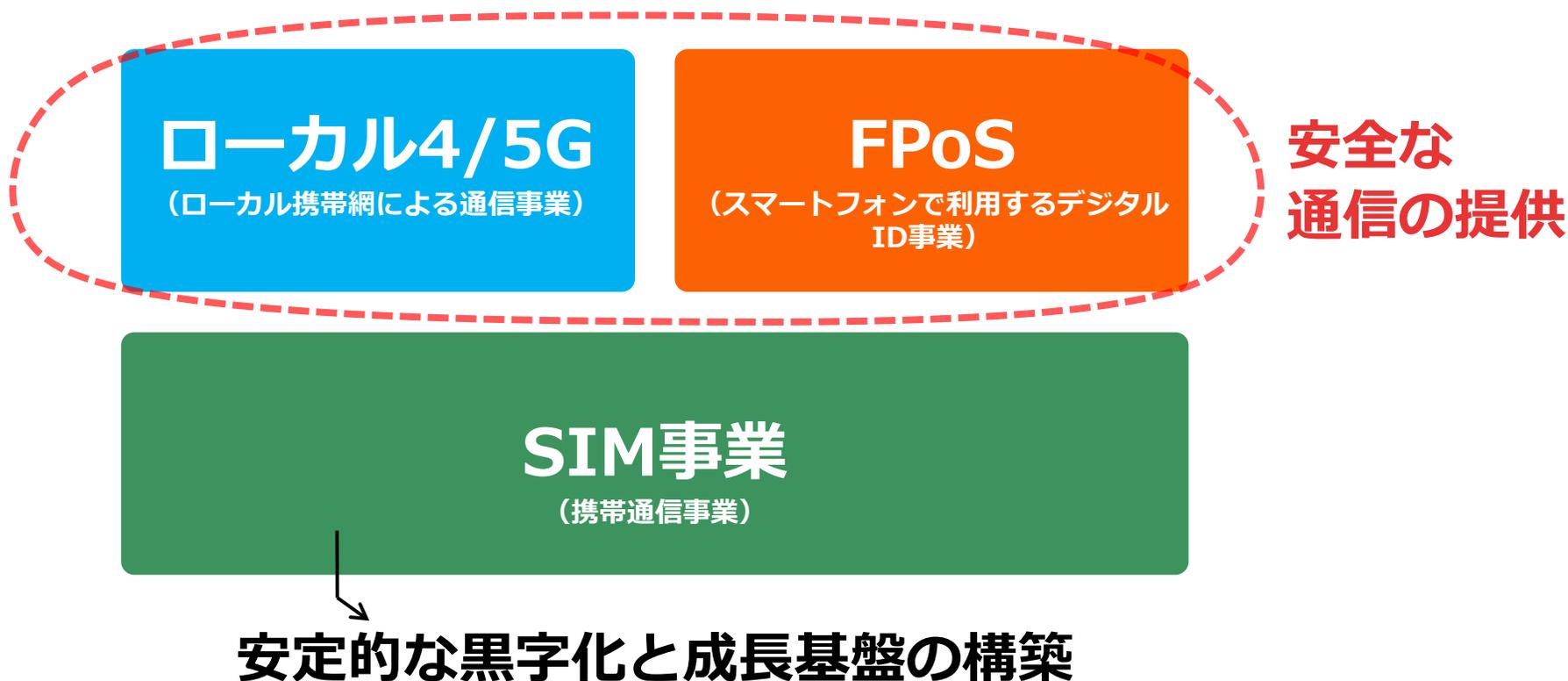
産業ごとのFPoS採用への取り組み

例示



日本通信の事業戦略

- ✓ 2016年1月に新事業戦略として発表
- ✓ FinTechプラットフォームについては、2017年8月に公表



FPoS: Fintech Platform over SIM、エフポス
スマホで安全・安心な金融取引等を実現できる当社の特許技術



日本通信のミッション

Secure & Reliable
Transportation of Data

安全・安心にデータを運ぶ

<ご注意>

本資料に記載された見解、見通し、および予測等は、本資料作成時点での当社の判断によるものです。当社では、これらの情報の正確性を保証するものではありません。また、今後の市場環境の変化等の様々な要因により、今後の見通しおよび予測等が本資料とは異なるものとなる可能性があります。何卒ご承知おきくださいますよう、お願い申し上げます。

本資料に記載されている会社名、商品名などは該当する各社の商標または登録商標です。